

# 平成29年2月2日開催教育委員会会議記録

(秘密会の部)

## 1 開会・閉会等について

日 時	平成29年2月2日(木) 午後3時
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時44分
閉 会	午後4時18分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	雁 部 隆 治
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	岸 川 紀 子
教育委員会事務局参事 (すみだ教育研究所長事務取扱)	高 橋 宏 幸
学 務 課 長	須 藤 浩 司
指 導 室 長	月 田 行 俊
生涯学習課長	岡 本 香 織
スポーツ振興課長	佐 久 間 英 樹
ひきふね図書館長	石 原 恵 美

本秘密会において審議された議案第6号及び第9号については、平成29年2月15日をもって議会上に上程されたため、当該議案に係る会議録は公開の取扱いとする。

## 2 議題について

### (1) 議決事項

第4 議案第9号 平成29年度墨田区一般会計予算案に関する意見の聴取について

第5 議案第6号 平成28年度墨田区一般会計補正予算(第7号)案に関する意見聴取について

### 3 会議の概要について

**教育長** ただ今から教育委員会秘密会を開会します。なお、審議の順番ですが、先に議決事項第5議案第9号を審議し、その後に議決事項第4議案第6号を審議いたします。

#### 議決事項第5・・・資料P13～16

議案第9号「平成28年度墨田区一般会計補正予算(第7号)に関する意見聴取について」を上程し、庶務課長が資料のとおり説明する。

**教育長** ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

(質疑・意見なし)

**教育長** それでは、議案第9号は原案どおり回答することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**教育長** では、原案どおり回答することにします。

#### 議決事項第4・・・資料P9～12、議案第6号補足資料

議案第6号「平成29年度墨田区一般会計予算案に関する意見の聴取について」を上程し、庶務課長、次長が資料のとおり説明する。

**浅松委員** 資料「予算概要」の12番の「オリンピック・パラリンピック教育の推進」で、今年が3校、重点校になるというように、墨田区教育委員会広報誌「いきいき」に出ていましたが、今年東京都で100校、オリパラ教育重点校の指定があったので、その予算は東京都からなのですか。この1,300万円ほどの予算で、今年から全ての学校で取り組みを推進するということで、4月からスタートしていると思うのですが、3校の重点校を除いた全小中学校に約1,300万円で、主に中身としてはアスリートの招聘とか、いろいろな方を招聘するときの費用に係るということですか。

**指導室長** まず、重点校の3校は東京都教育委員会を選びます。区で何校か挙げた中で選考されて、本年度はその3校になっています。この3校については50万円が支給されています。それから、残りの幼稚園、小中学校は全て30万円が支給されているという形になっています。その場合、幼稚園は、特に遊具等に充てるとか、あるいは講師を招聘することに充てたりとかということに主に使っています。小中学校についても、例えば体力調査等で課題のある者についての対応に必要な諸経費とか、あるいはオリンピック、パラリンピアン、あるいは日本の伝統文化にかかわる人の講師謝礼というようなことで使っているというのが現状でございます。

**浅松委員** いわゆるアマチュア選手などは事務所があるかどうか分かりませんが、例えば1人招聘するのに大学教授は幾らとか、そういう会社がありますよね。あの枠の中で講師謝礼を出すのですか。

**指導室長** 違います。要は、個人でというのはほとんどないので、必ずエージェンต์みたいなものが絡みますので、仕様書等を設けて委託で実施しますので、1回10万円とかというものもございます。

**浅松委員** 時間じゃなくて、個人ですね。わかりました。

**阿部委員** 5番の「学校ICT化の推進」のところに5億円の予算が計上されています。機器類は

整備されたと思うのですが、来年5億円計上するというのは、どのようなところにお金をかけるのか、教えていただきたいと思います。

**庶務課長** 今年度の夏に機器等は全部整備させていただきまして、ICT機器については、ほとんどリース契約をしているので、来年度は倍になるイメージです。今年度半年分だったのが1年分になるということです。大きくは3つあるのですが、職員室の中の校務支援環境のパソコン、先生たちの教育活動用のパソコン、それから、各普通教室、特別教室に配置させていただいているプロジェクター付き電子黒板と拡大投影機とiPad、それから、PCルームの整備費ですね。それぞれ文部科学省から、これぐらいのものを目指しなさいというような文書が出ておりまして、それに向けて整備をしたところですが、ここから大きく増えるということはありません。

**阿部委員** リース料ということですか。

**庶務課長** はい。リース料です。

**阿部委員** 10番の「中学生の海外派遣」ですが、確か派遣予定は20名だったと思うのですが、この予算で賄えますか。

**指導室長** この予算で賄えます。ただ、燃油サーチャージ等が変動したりするものですから、その辺はまた見極めていかなければいけないと思っています。旅行代理店と十分協議しながらやっていきたいと思います。

**阿部委員** 家庭の負担はないのですか。

**指導室長** 基本的に就学援助等を受けていない方については、パスポート代等は負担することになります。

**阿部委員** 旅費の一部とか、そういう負担はないのですか。

**指導室長** 旅費は全部区の予算から支出します。パスポート等、個人に係る部分については負担をさせていただきます。なお、先日保護者説明会をさせていただきましたが、70世帯、百数名の方に参加していただきました。参加者たちは、誰が行くのかというのも見えていましたので、この人たちがライバルなんだなというような形でチェックしながら説明を受けておりました。

**浅松委員** 5番の「学校ICT化の推進」のところですが、先日、墨田中学校の公開授業の際に、理科の生命の遺伝のところではタブレットを20台ほど区から借りて、個人の生徒が持って、グループ学習で、そこに入力していくという授業でした。英語もそうだったのですが、現在、貸し出せるタブレットは20台プラス在庫が幾つかというのは聞いたのですが、台数を増やす予定はありますか。

**庶務課長** グループ学習用として各学校に十数台ほどPCがございます。また、貸し出し用のものも多少あるので、その利用状況を見ながら少し検討させていただきたいと思います。

**浅松委員** もう少し台数を増やした方がよいと思います。現場では教員もタブレットをもちろん持っているのですが、いろいろな授業の中で、毎時間ではなく、期間限定の貸し出しでもいいと思います。

**庶務課長** 現在、PCルームのパソコンをデスクトップ型から、取り外しができるようなタブレット型に順次変更しています。そのパソコンを教室で使うこともできるようにしていきたいと考えています。

**浅松委員** わかりました。

**坂根委員** タブレット型にしても、鍵をかけて使えなくなっていたというようなことがありました。機器が新しい学校などは、本当に何のためにというようなことがありましたので、そこもちょっと

検証していただきたいと思います。

**庶務課長** そうですね。やはり使っていただかないと意味がありません。セキュリティーを確保しながら、使用率を上げていく、ということのを両立していかなければならないと思っています。

**教育長** 個人情報等が入っていないから、セキュリティー的には大丈夫ですけど、要するに盗難とかそういうものでルール化していないから鍵をかけているということだと思います。ほかの学校ではできているので、鍵をかけているというのは何か事情があるということだと思います。機器が紛失すると、リース物件なので困るということもあって、鍵をかけているのだと思います。

**坂根委員** iPadの前の時代のPCルームで最新式だったのですが、その問題なのですよ。

**教育長** PCルームに備わっているパソコンですか。

**坂根委員** 可動式ですが、可動式に鍵をかけていました。

**教育長** 可動式だから、逆に鍵をかけてしまうということですね。

**坂根委員** そうですね。ですから、iPadではなくて、PCルームの使い方の問題だと思います。機器が古い学校はもう固定になっていますけれども、そうではない学校の使い方を、もう一度検証していただきたいと思います。

**庶務課長** ルール化に向けて検討していきたいと思います。

**教育長** 鍵がかかっていたというのは、iPadなのですか。

**坂根委員** いいえ。iPadではありません。

**教育長** それは、PCルームを整備したときからの課題で、可動式じゃなくて固定式のものは学校でほとんど使用されません。子どもたちを移動させなければならぬのが大変なので、授業で使う技術ぐらいでしか使用されません。そこは課題として認識しています。庶務課長が先程話したiPadとPCルームとは別の問題になってしまうので、それは進めるようにします。

**坂根委員** すみません。iPadの方でした。

**教育長** iPadの方ということであれば、使い方がまだ確立されていないのかもしれませんが。固定式は、やはりほとんど使われないのです。あと、昔あったLL教室というのも、もうほとんど使わなくて、同じような状況です。墨田区の場合は、結構庶務課の職員が学校を訪問しているので、最近使っているようです。ただ、ルール化されていないと、鍵がかけられてしまうと思うので、その辺を検討していきたいと思います。

**坂根委員** 13番の「学力向上『新すみだプラン』の推進」で、実験アシスタント5名というのは、これは小学校と中学校を合わせてですか。週何日ぐらいとか、そういうのは分かりますか。

**すみだ教育研究所長** 金額的には各学校5人、60万円分で、大体時間単価1,300円で実施する予定ですから、そんなに長い時間ではありません。例えば1週間単位ぐらいでアシスタントとして入って、理科室の整備を手伝うとか、実験のところはこういうふうに準備するということとか、必要に応じて教員の補助で入るとか、そういうところをどうやって効率的にやっていくのかということを検討しています。

**坂根委員** 予備実験とか、そういうことですか。

**すみだ教育研究所長** そういうことを含めて、どこまでフォローできるかですね。

**教育長** アシスタントは補助者だから、予備実験等を実施するのではなく、実験をやる前にキットを集めて、それで先生たちがやりやすくするとか、環境整備をするだけですね。

**すみだ教育研究所長** 予備実験等については、理科教育指導員が巡回しております。

**指導室長** 小学校では、ずっと授業を担当がしているわけですから、授業が終わって理科室に駆け

つけて、実験の準備をして、授業を行うというのはなかなか厳しいです。授業が始まる前に、アシスタントが前もって準備をしていれば、担任がスムーズに授業を行えるようになります。そのようなところに一番重きを置いて使うという形になると思います。

**阿部委員** 教育委員会関係とは別かもしれませんが、次の総合教育会議で貧困対策というのが話題になると思いますが、次年度の予算で、別の部局で予算化されるということはありませんか。

**次長** 福祉事務所の方になりますが、低所得者家庭の子どもの学習支援の枠を高校生まで広げるといっているのを聞いています。

**阿部委員** それが一番直接的な対策ということですか。

**次長** はい、増やしています。その枠を広げるといような話は聞いています。

**学務課長** あと、福祉保健部で、子どもの貧困対策の実施計画策定が新規予算として組まれています。

**阿部委員** 策定をこれからやるのですね。

**学務課長** 次年度予算で計画を立てます。

**教育長** 今、東京都で調査を行っているので、その結果を分析して策定していくようになると思います。

**阿部委員** ありがとうございます。

**教育長** それでは、議案第6号は原案とおり回答することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**教育長** それでは、原案とおり回答することとします。

**教育長** ここで、会議の取扱いについてお諮りします。秘密会はこれをもって終了とし、ここからは公開の会議といたしたいが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**教育長** それでは、そのように取り扱うことといたします。傍聴人がいれば、入室させてください。